

建築部門

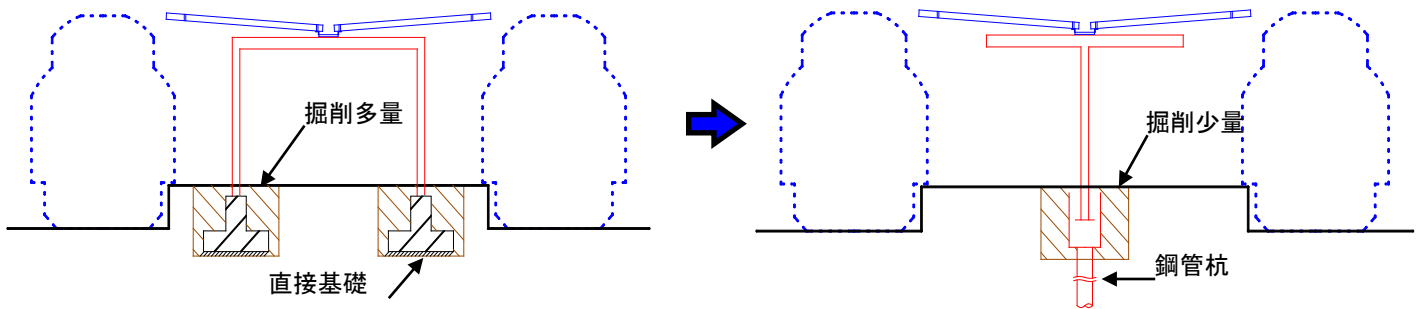
ホーム上家杭基礎の柱杭接合部の技術

老朽化したホーム上家の建替え工事や上家の増築工事では、現状夜間作業が大半を占め、工期、コストの面で課題があります。この課題を解消するため大スパン化による掘削箇所の削減と、箇所辺りの基礎部掘削の低減により、上家建設コスト低減が可能なホーム上家の設計施工法の技術です。

特長

・省スペースでの施工、かつ掘削時間の短縮を可能とします。

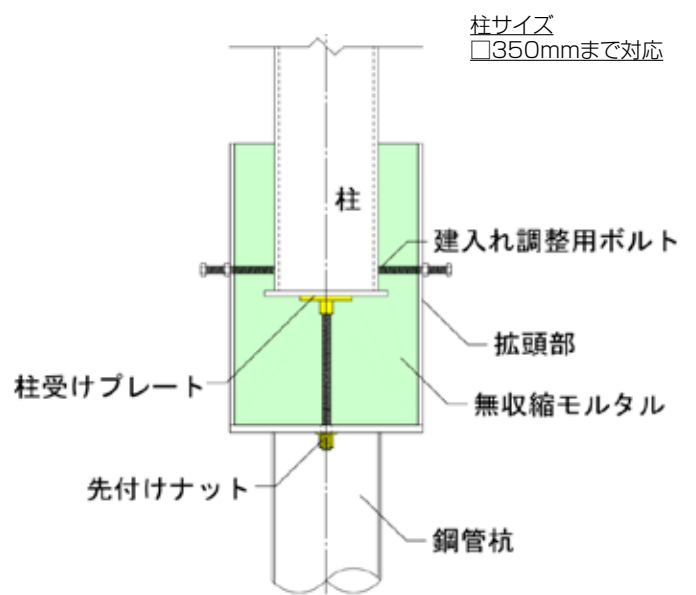
従来の上家は直接基礎の採用が多いが、基礎面積が大きくホーム上での作業スペース・作業時間が多く必要となるとともに、「掘削」、「配筋・型枠・コンクリート打設」、「埋戻し」と作業工種が多くなるため、コスト・工期を要します。基礎形式を杭基礎とし、柱と杭を一体化することで作業スペース・掘削時間・掘削費の軽減を可能とします。



【ホーム上家杭基礎・杭柱接合部イメージ図】



柱杭接合部



断面図